

# 風流々

令和6年3月号

編集・発行

乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑

京都府長岡京市井ノ内西ノ口17番地の8

TEL 075-954-6501

FAX 075-954-9588

## \* 小さな作品展その後 \*

6月に開催したわかたけえん小さな作品展

公募展への応募をするなかで自分でも知らなかった才能があったと再発見。

書いたり、作ったり、言葉を紡いだりすることってなんだか楽しいかも、

みんなに見てもらい、「いいね」、「すごいね」と言ってもらえる快感。

いろいろ皆さん続ける理由があります。

その後も作品を作り続け、事業所内の限られた場所ではありますが、発表をしています。

生活介護事業の創作活動は、個人での作品作りがしばらく続いていたので、久しぶりにグループ作品に取り組むことにしました。

今回のモチーフは、新年にちなんだおめでたいモノを考え「だるま」にしました。そして、久しぶりに生活介護事業開始当初から取り組んでいる、懐かしの「貼り絵」に取り組むことにしました。準備をし始めると「何をす



の？」と利用者さんも興味深々で、準備が進むにつれ「これかー！」と思い出されたご様子もありました。今回使用した紙は、毎月寄付でいただいている雑誌を使いました。「どの色が良いかな…」と色を探すのにページをめくっていると、利用者さんが「これ！」と指差しで決められることもありました。遠くから見るとわからないのですが、近くで見ると花柄やストライプなど無地以外の紙も使われていることがわかります。作品の中にあるので、ぜひ探してみてくださいね。

完成まで2カ月もかかりました間に合いました。作品を見た愛いね。「明るい色がめでたいだいています。



たが、なんとか新年までに方々から「だるまさんが可ね。」など嬉しい感想をいた



就労継続支援（B型）事業には、利用者さんが作った「川柳クラブ」があります。

川柳を廊下に飾れる小さなスペースを用意したのがきっかけで、私もやりたい！とメンバーが増えました。時事ネタや日常風景など、気が付くと新しい川柳に貼りかえられています。他にも絵画や写真等、個性豊かな作品も2階の廊下に展示していますので、ぜひ見に来て下さい。

また、「令和5年度京都とっておきの芸術祭 川柳の部」でTKさんが「京都南ロータリークラブ会長賞」を受賞されました。さらに2月にはロータリー

クラブの展示会が京都市内のホテルで開催され、それも見に行かれました。来年度も受賞したいと創作意欲満々です。

このような仕事以外の趣味や活躍できる場もとても大切だなと感じています。



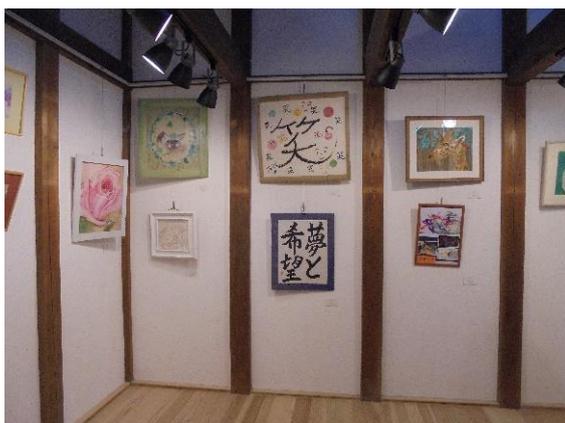
今回、地域活動支援センターからは、今年度の作品展への出展についてお伝えします。「わかたけ苑小さな作品展」は、久々に若竹苑で開催した作品展であり、ギャラリーで展示するから色々な方が見に来てくれるに違いないと、どのような作品にしようかなと悩まれながら、自分の得意なこと、好きなことを作品に仕上げていきました。



以降も、「令和5年度京都とっておきの芸術祭」「パラ・アート展」（向日市社会福祉協議会主催）へ出展しました。

「令和5年度京都とっておきの芸術祭」では、10名の方が「どうしたら賞取れるかな？」「こんな感じが良いか」と悩まれながら出展され、1名が入賞されています。

「パラ・アート展」にもお声掛け頂き、2名の方が出展されました。



今後も、クリエイティブな面に着目したプログラムも取り入れていきたいと考えています。その人だから創れるもの、感性を刺激することを大切にしながら、創作的なプログラムに関わらず、様々な取り組みを通じて地域との関わりを広げていきたいと思えます。

HPを見れば何をしているか分かるので一度のぞいてみて下さい。